

平成29年3月1日

第3回 福島大学環境放射能研究所 成果報告会 の開催について

福島大学環境放射能研究所は、平成29年3月14日に第3回成果報告会を下記のとおり開催いたします。

本研究所は平成25年7月に設立されて以来、環境中へ放出された放射性物質の挙動や影響について研究しています。今回の成果報告会では、福島県内のフィールドを中心に行った研究成果について発表し、福島県の環境放射能の現状について報告します。

市民の皆様もご参加いただけますので、事前にお申し込みの上ご来場くださいますよう、周知方よろしくお願いいたします。

記

- 日 時：平成29年3月14日（火） 9：30～17：30
- 場 所：コラッセふくしま（福島市三河南町1-20） 4階多目的ホール
- 内 容：

・基調講演：「人の被ばく線量と防護の考え方」

神田玲子 氏（量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
放射線防護情報統合センター長）

・研究プロジェクト発表：

トーマス・ヒントン	（福島大学 環境放射能研究所 教授）
青山道夫	（ " " 特任教授）
イスミール・ラハマン	（ " " 准教授）
平尾茂一	（ " " 講師）
脇山義史	（ " " 講師）
高貝慶隆	（ " 共生システム理工学類 准教授）

・パネルディスカッション：「福島における動植物の被ばく線量人の被ばく線量」

高村 昇 氏	（長崎大学 原爆後障害医療研究所 教授）
神田玲子 氏	（量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 放射線防護情報統合センター長）
塚田祥文	（福島大学 環境放射能研究所 副所長）
トーマス・ヒントン	（ " " 教授）
ヴァシル・ヨシェンコ	（ " " 特任教授）

※参加無料でどなたでも参加できます。
詳細は別紙チラシをご参照ください。

（お問い合わせ先）

福島大学環境放射能研究所事務室

電 話：024-504-2114

メール：ier@adb.fukushima-u.ac.jp

第3回 福島大学環境放射能研究所

3rd IER Annual Progress Report Meeting

成果報告会

一般対象

参加費無料

同時通訳有(日/英)

要旨集 配布有

ポスターセッション有

2017年 3月14日(火)

9:30 - 17:30 (受付 9:00)

IER成果報告会 | 検索

事前申込は特設ページ、またはFAXから
当日申込也可

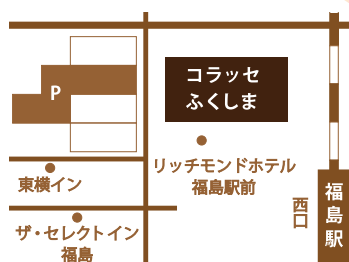
水、森、海、大気、土壌、生物など 多角的調査から福島の今を伝える

2011年から6年が経ちます。

福島大学環境放射能研究所は、福島県内のフィールドを中心に環境中の放射性物質の挙動と影響について研究しています。

成果報告会では、一般の方にもわかりやすく、福島の実環境放射能の現状についてお伝えします。

会場
コラッセふくしま
福島県 福島市 三河南町1-20



9:30-9:50

開会挨拶

9:50-10:50

基調講演

「人の被ばく線量と防護の考え方」

神田玲子 (国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所・放射線防護情報統合センター長)

10:50-11:40

研究プロジェクト発表1

【河川・湖沼】水環境における福島由来の放射性セシウムのゆくえ
【生態系】生態系での放射性核種のうごきと動植物への放射線の影響について何がわかってきたのか

13:00-14:40

ポスターセッション

14:40-16:00

研究プロジェクト発表2

【存在形態】環境における放射性物質の分布と挙動を解き明かすための存在形態分析の適用

【計測・分析】放射性核種または放射能の計測・分析システムの開発

【海洋】海洋環境における人工放射性核種の長期挙動の研究：海洋および海洋生態系の放射性セシウムの現状

【モデリング】放射性物質の動態予測モデルの開発（大気、表層水、地下水）

16:10-17:25

パネルディスカッション

福島における動植物の被ばく線量と人の被ばく線量

～そこから見えてくるもの～

17:25-17:30

閉会挨拶



主催 福島大学環境放射能研究所 (IER)、福島大学



後援 福島県、筑波大学、広島大学、長崎大学、東京海洋大学、福島県立医科大学、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所

問い合わせ・申込み 福島大学環境放射能研究所 <http://www.ier.fukushima-u.ac.jp> メール ier@adb.fukushima-u.ac.jp 電話 024-504-2114 ファックス 024-503-2921

2017年3月14日(火)
9:30-17:30

水、森、海、大気、土壌、生物など
多角的調査から福島の今を伝える

会場 コラッセふくしま4F多目的ホール、3F企画展示室
福島県福島市三河南町1-20

プログラム

9:30 - 9:50	開会挨拶
9:50 - 10:50	基調講演「人の被ばく線量と防護の考え方」
10:50 - 11:15	【河川・湖沼】水環境における福島由来の放射性セシウムのゆくえ
11:15 - 11:40	【生態系】生態系での放射性核種のうごきと動植物への放射線の影響について何がわかってきたのか
11:40 - 13:00	昼食休憩
13:00 - 14:40	ポスターセッション
14:40 - 15:00	【存在形態】環境における放射性物質の分布と挙動を解き明かすための存在形態分析の適用
15:00 - 15:20	【計測・分析】放射性核種または放射能の計測・分析システムの開発
15:20 - 15:40	【海洋】海洋環境における人工放射性核種の長期挙動の研究：海洋および海洋生態系の放射性セシウムの現状
15:40 - 16:00	【モデリング】放射性物質の動態予測モデルの開発（大気、表層水、地下水）
16:00 - 16:10	休憩
16:10 - 17:25	パネルディスカッション 福島における動植物の被ばく線量と人の被ばく線量 ～そこから見えてくるもの～
17:25 - 17:30	閉会挨拶

福島大学長 中井勝己 所長 難波謙二
神田玲子（国立研究開発法人 量子科学 技術研究開発機構・放射線医学総合研 究所・放射線防護情報統合センター長）
脇山義史
トーマス ヒントン
企画展示室 3F
イスマイル ラハマン
高貝慶隆
青山道夫
平尾茂一
高村昇（長崎大学）、神田玲子（QST・ 放射線医学総合研究所）、トーマス ヒン トン、ヴァシル ヨシエンコ、塚田祥文
副所長 恩田裕一（筑波大学）

問い合わせ・申込み

IER成果報告会 | 検索

▼▼事前申込みは特設ページまたはFAXにて**2017年3月7日(火)まで**にお願いします。当日申込みも可。【福島大学環境放射能研究所】
ウェブ <http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/> メール ier@adb.fukushima-u.ac.jp 電話 024-504-2114 ファックス 024-503-2921(代表)

【参加申込書】第3回福島大学環境放射能研究所成果報告会

氏名	住所
所属先	連絡先 電話 FAX 携帯
メール	
次の報告会案内について ☐ 要 ☐ 不要	

提供いただいた個人情報は、国立大学法人福島大学個人情報保護管理規則に従い、適切に管理・利用いたします。成果報告会では、今後の研究活動に活用するため、内容の記録、会場での写真・映像撮影及び録音を行います。撮影した写真・映像及び録音した内容は成果報告会報告書のほか、ホームページ、パンフレット、一般向けの書籍等にも使用させていただきますことがあります。また、報道機関による取材が行われる場合、撮影された映像・画像はテレビ、新聞等の各種媒体において利用されることがあります。